



令和5年7月31日発行
社会福祉法人 青梅みどり福祉会
かすみ保育園

流行しやすい夏風邪

<咽頭結膜炎（プール熱）>

主な症状は、喉の痛み、眼の充血、発熱の3つです。特徴は39～40度の高熱・喉の痛み・頭痛や腹痛、眼の充血・眼脂・涙目などです。感染力が強いので家族間での感染に注意しましょう。

【登園基準】

解熱しのどや目の症状が治った日を0日とし、2日間が経過している（治癒報告書の提出が必要）

<ヘルパンギーナ>

39℃以上の高熱が数日続く。同時にのどが赤く腫れて口の中やのどに小さな水疱がたくさんできます。水疱は2～3日でつぶれて黄色い潰瘍になります。喉の痛みが強い為、刺激が強いものは避け、噛まずに飲み込める喉ごしの良いものにしましょう。

【登園基準】

解熱し普段通りの食事が食べられる（登園届の提出が必要）

<手足口病>

手のひらや足の裏、口の中に水ぶくれのような発疹が出現、飲食時に痛みが嫌がります。高熱が出ることは少ないが髄膜炎や随炎など合併症をおこすことがあります。大人でもうつりやすく、原因となるウイルスが複数ある為、何度でもかかる可能性があります。

【登園基準】

解熱し普段通りの食事が食べられる（登園届の提出が必要）

8月の予定

- 1日（火）身体測定
- 2日（水）乳児検診

症状回復後も便の中にウイルスが排出される為、登園後7日間はプール・水遊びは出来ません。シャワー浴対応となります。

暑い日が続きますが・・・

二十四節気のひとつ「立秋」は「秋の兆しが見え始める頃」という意味で、2023年は8月8日～22日です。暦の上では秋になります。暑さは続きますが、空を見上げると、少しずつ秋の気配が感じられるようになります。夏から秋にかけての雲の変化は、とてもおもしろいですよ。子ども達と見上げてみても楽しいですね。



7月は、ヘルパンギーナ感染症の報告が3名ありました。ヘルパンギーナ感染症などの乳幼児に流行する夏風邪が、今年度は例年の6倍で発症していると報告されています。登園前に体調がいつもと違う場合や咳などの症状がある場合は登園を控えてください。

また、7月に入り嘔吐・下痢症状でお休みする子どもが増えています。嘔吐や下痢をした場合は感染症の可能性もあるため必ず病院を受診して、感染症の有無を確認してからの登園をお願いします。また下痢後は普通便を確認し24時間経過してからの登園、嘔吐した場合は嘔吐後24時間経過してからの登園をお願いします。また、症状があった子どもの兄弟姉妹の登園は病院に受診してもらい感染症の有無を確認した後の登園をお願いします。保育園での感染拡大予防のためにご協力をお願いします。